

政策統括官

(統計・情報システム管理、
労使関係担当)

Director-General for Statistics,
Information System Management
and Industrial Relations

部局の所掌分野

統計調査

厚生労働分野の政策立案に必要な、人口動態や世帯・雇用・医療等の国民生活に深く関わる統計の整備・調査に取り組んでいます。

サイバーセキュリティ・ 情報システム管理

厚生労働行政における情報セキュリティの確保や情報システムの整備を通して、安全かつ効率的な職場環境の維持、改善を行っています。

労使関係

安定した労使関係は、経済社会の発展の基礎となるものであり、労使と政府の間での対話促進等に取り組んでいます。

Hot Topics

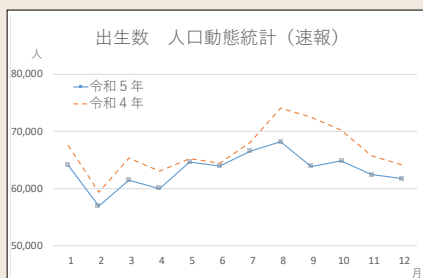
統計から分かる出生数の推移

人口動態統計は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の各事象について、市区町村において各種届出書等から作成された人口動態調査票を、収集し集計したものです。

このグラフは、令和4年及び令和5年の毎月の出生数(速報値)の推移を表したものです。

令和4年と令和5年を比較すると、出生数が減少していることが分かります。

「過去」の積み重ねにより、「今」を分析し、データに基づき「未来」に向けた施策を検討・導入する。統計は施策の基礎となるものです。



データの活用を通して ひと、くらし、みらいを支える

Our Mission

政府の政策決定はもとより、国民の意思決定に幅広く利用され社会の発展を支える基礎ともなる各種統計調査を実施し、公表しています。また、国民の重要な情報資産を預かる立場から、厚生労働行政における情報セキュリティ対策及び情報システム整備を進めています。

加えて、労使団体等に係る連絡調整なども行っており、総合的な労働政策の策定と労使関係の安定に寄与しています。

厚生労働行政を支える統計を整備する

証拠に基づく政策立案(EBPM, evidence-based policy making)を推進するためには、現状を分析するための統計データが必要です。このため、厚生労働省では、出生、婚姻、労働者の雇用、賃金、労働時間、医療、社会福祉等に関する大規模な統計調査を実施しています。

その結果は政策の企画立案において大きな役割を果たすとともに、GDP推計や民間の景気判断にも活用されています。

また、WHO(世界保健機関)やOECD(経済協力開発機構)等の国際機関と協力し、統計データの国際比較等に取り組んでいます。

情報セキュリティの確保や 職場環境のデジタル化を通じて 業務効率化を推進する

情報化の発展とともに新たなサイバーセキュリティのリスクや脅威が発生しています。こうした中、厚生労働省では、日々巧妙化するサイバー攻撃に対して適切な対応を行えるよう、省内の情報システム運用部門と連携し、サイバー攻撃等を検知した際の初動対応等の支援や、事案の発生から終息に至るまでの状況等を分析し、情報システムの安全性確保、被害の拡大防止対策に取り組むとともに、職員自らが適切な対応を行えるよう、周知・啓発、訓練、研修を通じた理解促進にも取り組んでいます。

また、多様な働き方への対応やより効率的な職場環境の整備が求められる中で、ビジネスチャットツールの活用、テレワークやWeb会議の利用促進など、デジタル技術を通じたペーパーレス化・業務効率化を実現するため、省内のシステム環境の整備及び安定運用に取り組んでいます。

経済社会発展における労使関係に着目する

現在、春闘での労使交渉における賃上げは、社会的に注目を集めています。しかし春闘では、賃上げ以外にも仕事と家庭の両立支援や高齢者・障害者雇用といった様々な労働条件等も議題とされ、労使交渉が行われています。

また、労使関係においては、百貨店の労働組合等のストライキも社会で注目されています。

厚生労働省では、このような春闘やストライキに関する情報等を労使団体から日々情報収集し、政策課題の解決や政策立案のために活用しています。